



Title	言語文化研究 39 表紙
Author(s)	
Citation	言語文化研究. 2013, 39
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/24713
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

言語文化研究

Studies in Language and Culture

39

大阪大学大学院言語文化研究科

Graduate School of Language and Culture

Osaka University

2013

言語文化研究 39

2013

目 次

成 田	一 教授の略歴および主要研究業績	1
野 村 泰 幸	教授の略歴および主要研究業績	3
深 澤 一 幸	教授の略歴および主要研究業績	5
堀 江 新 二	教授の略歴および主要研究業績	7
南 田 み ど り	教授の略歴および主要研究業績	9

【学術論文】

植 田 晃 次	伊藤伊吉の経歴と著書 —日本近代朝鮮語教育史の視点から—	11
沖 田 知 子	情報操作のデザイン —推理小説の場合—	31
瀧 田 恵 已	ダイクシス過程における「距離」とOrigoとの関係について	53
林 田 理 惠	ロシア語の受け身が描く世界 —再帰動詞による受動とは—	75
深 澤 一 幸	徽宗「瑞鶴図」の風景	95
松 村 耕 光	『生命の水』におけるアーザードのダビール・アニース比較論	117
宮 本 マ ラ シ ー	味を表すタイ語表現における比喩	125
林 初 梅	学校という記憶の場 植民地台湾の時代からの連続性に注目して	149
ДЫБОВСКИЙ А.С., МОРГУН З.Ф.	Професор Е.Г.Спальвин и журнал "Восточная студия"	175
KOGUCHI,Ichiro	Erasmus Darwin's Quasi-Environmentalism:Teleology and Moral Agency in <i>The Temple of Nature</i>	197

【研究ノート】

郡 史 郎	判定要求の質問文における疑問型上昇調とその音声的特徴	221
-------	----------------------------	-----